



那須高原スポーツフェスティバル通信⑨

- 10月20日（水）に「熱血！那須高原スポーツフェスティバル」を行いました。時折、雨や風がふきましたが、全種目とも無事実施することができました。
- 感染症対策のための参加者数の制限や当日までの検温の実施等、皆様の御協力ありがとうございました。また、会場準備や運営の補助、片付等、大変お世話になりました。
- 『自立』『自律』を促すためのプロジェクトとして、子供たち自らの手で作り上げていこうと実行委員を中心に意見を出し合ってきました。ここで、スポフェス後の子供たちの振り返りを紹介させていただきます。

わたしがスポフェスでがんばったことはダンスです。大きくにこにこでおどることができました。

【1ねん いのうえ しおの】

大玉はむきがかわってしまうと つぎの人がころがしにくくなってしまいますので、さいご3人でむきをなおすよう きょうりょくしました。

【2年 ふじ あまね】

「いちご一会ダンス」のとき、1・2年生にどこにいくか、やさしく教えたり、ならばせてあげたりすることができました。

【3年 高根澤 龍磨】

スポフェスのじゅんぴをがんばりました。マットを動かしてから、ゆうぐをテープで固定する仕事を進んでできました。

【4年 關根 菜々美】

児童係で1年生の消毒や低学年の誘導をしました。特にがんばったことは、1年生に消毒をするのを忘れないように、プログラムを1回1回見て消毒をする時を確認したことです。

【5年 齋藤 希未】

がんばったことは、実行委員からのアナウンスです。前の日に決まったことだったので練習をしていなかったけど、うまくいくようにがんばりました。

【6年 大森 柚憂】

